

再配分による担い手への集約

加須市前谷地区

地区の概要

- 地区内の農地の9割以上が水田であり、コシヒカリが有名な良質米の産地。しかし、基盤整備が遅れており、1反区画の田が多く耕作地も分散している。
- 米価の下落等により、リタイアを考える農家が増加しつつある。



【転貸面積】

43.5ha

【転貸期間】

平成28年3月1日

～平成37年11月30日

取組のポイント

- 前谷地区農業及び地域環境の保全整備推進協議会を設立し、農地中間管理事業と基盤整備事業の導入を検討する場を設け、集積・集約化について検討を重ねた。
- 毎年度、より分散錯圃を解消するため、担い手、県農林振興センター、市、機構コーディネーターが話し合いを重ねて、耕作地の交換を進め、担い手にまとまりある農地に集約化。
- 今後も協議会の営農部会において、さらなる集約化に向けての話し合いを実施していく。

耕作農地の推移

